

## 平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年10月30日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 遠藤製作所

コード番号 7841 URL <http://www.endo-mfg.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小林 健治

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 牛坊 芳明

TEL 0256-63-6111

四半期報告書提出予定日 平成20年11月14日

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	9,578	—	1,081	—	947	—	700	—
20年3月期第2四半期	8,536	32.3	491	189.3	787	212.6	629	458.4

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
21年3月期第2四半期	75.90	—	—	—
20年3月期第2四半期	68.22	—	—	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%		円	銭
21年3月期第2四半期	20,561	—	11,850	57.6	—	—	1,284.61
20年3月期	20,314	—	11,525	56.7	—	—	1,249.48

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 11,850百万円 20年3月期 11,525百万円

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金					年間
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円	
20年3月期	—	0.00	—	10.00	—	10.00
21年3月期	—	0.00	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	12.00	—	12.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
通期	20,030	△0.8	2,170	△1.5	1,860	△8.0	1,370	△0.3	149.73

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

### 4. その他

(1)期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 一社(社名 ) 除外 一社(社名 )

(2)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(3)四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

①会計基準等の改正に伴う変更 有

②①以外の変更 無

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(4)発行済株式数(普通株式)

①期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 9,441,800株 20年3月期 9,441,800株

②期末自己株式数 21年3月期第2四半期 217,200株 20年3月期 217,200株

③期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第2四半期 9,224,600株 20年3月期第2四半期 9,224,600株

1.平成20年5月13日発表の通期業績予想は、平成20年10月28日発表のとおり修正を行っております。

2.本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び、業績予想のご利用に当たっての注意事項については、2ページ【定性的情報・財務諸表】3.連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。なお、1株当たり予想当期純利益の算出に当たっては、平成20年10月28日開催の取締役会決議に基づき自己株式取得による影響を考慮しております。

3.当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、原油価格や穀物等の原材料価格の高騰が企業と家計の両方に影響を及ぼす一方、サブプライムローン問題に端を発した米国経済の減速が、世界的な金融不安、為替・株式市場の大幅な変動を引き起こす等、景気先行きに対する不透明感が一段と厳しさを増してまいりました。

このような状況のもと、当社グループは中期経営計画の最終年度の総まとめのため、生産技術力の強化、生産ライン改善による生産性の向上・効率化、収益力の強化を図ってまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高95億78百万円となりました。利益面につきましては、ゴルフ事業、自動車等鍛造部品事業の売上高が予想を上回ったことや製造原価の低減が図られたこと等から、営業利益は10億81百万円、経常利益9億47百万円、四半期純利益は7億円となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、205億61百万円となり前連結会計年度末に比べ2億47百万円増加いたしました。この主な要因は、受取手形及び売掛金が4億54百万円減少したものの、原材料が6億54百万円増加したことによるものであります。

なお、純資産につきましては前連結会計年度末に比べ3億24百万円増加の118億50百万円となりました。これは利益剰余金が5億60百万円増加したものの、前連結会計年度末から円高パーツ安が進み、為替換算調整勘定の発生が1億57百万円あったことによる影響が主な要因であります。

キャッシュ・フローの状況につきましては、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は25億47百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億17百万円増加いたしました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、19億33百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が9億54百万円、減価償却費6億50百万円、売上債権の減少3億31百万円等による資金の増加によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、9億95百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出9億73百万円等による資金の減少によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、4億88百万円となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出3億68百万円及び配当金の支払額92百万円等による資金の減少によるものであります。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期におきましては、平成20年10月28日付「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしましたとおり、最近の世界金融・経済の急激な変化の中、第3四半期以降、景気減速が鮮明になったことから受注の減少が見込まれること、為替の先行きも不透明感を増す等、当社グループの業績に影響を及ぼす状況が予想されます。

上記の結果、平成21年3月期の連結業績予想は、売上高200億30百万円（前年同期比0.8%減）、営業利益21億70百万円（同1.5%減）、経常利益18億60百万円（同8.0%減）、当期純利益13億70百万円（同0.3%減）を見込んでおります。

（参考）平成20年10月28日発表の連結業績予想値の修正

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	21,880	2,643	2,454	1,669	181 03
今回発表予想(B)	20,030	2,170	1,860	1,370	149 73
増減額(B-A)	△1,850	△473	△594	△299	—
増加率(%)	△8.5	△17.9	△24.2	△17.9	—
前期実績	20,188	2,202	2,022	1,373	148 90

（注）上記の予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって記載の業績数値と異なる結果となる可能性があります。

#### 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）  
該当事項はありません。
  
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
  1. 簡便な会計処理  
固定資産の減価償却費の算定方法  
減価償却の方法として定率法を採用している固定資産の減価償却費については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。
  
  2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理  
該当事項はありません。
  
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
  - ① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。
  
  - ② 棚卸資産の評価基準及び評価方法  
棚卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。  
なお、この変更による損益に与える影響は軽微であります。
  
  - ③ 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用  
第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号）を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。  
なお、この変更による損益に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,243,720	2,809,980
受取手形及び売掛金	4,035,699	4,490,195
有価証券	35,274	35,204
商品	24,276	19,038
製品	952,078	1,155,586
原材料	1,471,528	816,849
仕掛品	1,161,618	1,129,947
貯蔵品	553,052	521,583
繰延税金資産	112,470	103,904
その他	292,693	447,011
貸倒引当金	△25,618	△29,160
流動資産合計	11,856,794	11,500,141
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,949,934	2,790,480
機械装置及び運搬具（純額）	2,956,956	3,254,827
土地	1,940,795	1,977,791
工具、器具及び備品（純額）	211,543	186,973
建設仮勘定	219,059	238,140
有形固定資産合計	8,278,290	8,448,213
無形固定資産		
投資その他の資産	47,392	45,019
投資有価証券	98,119	91,943
繰延税金資産	15,779	—
その他	278,083	240,721
貸倒引当金	△12,471	△11,166
投資その他の資産合計	379,511	321,498
固定資産合計	8,705,193	8,814,731
資産合計	20,561,988	20,314,873

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,969,400	2,354,427
短期借入金	1,778,801	1,880,719
未払法人税等	263,481	485,568
未払金及び未払費用	546,163	630,691
賞与引当金	333,802	174,253
役員賞与引当金	13,000	8,600
その他	334,198	477,178
流動負債合計	6,238,848	6,011,437
固定負債		
長期借入金	1,725,630	2,075,651
繰延税金負債	54,396	40,483
退職給付引当金	56,742	—
役員退職慰労引当金	583,737	573,341
その他	52,619	88,020
固定負債合計	2,473,126	2,777,495
負債合計	8,711,974	8,788,933
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,241,788	1,241,788
資本剰余金	1,183,816	1,183,816
利益剰余金	9,699,000	9,138,454
自己株式	△120,375	△120,375
株主資本合計	12,004,229	11,443,683
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,532	△150
為替換算調整勘定	△157,747	82,406
評価・換算差額等合計	△154,215	82,255
純資産合計	11,850,014	11,525,939
負債純資産合計	20,561,988	20,314,873

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
売上高	9,578,357
売上原価	7,571,447
売上総利益	2,006,910
販売費及び一般管理費	925,588
営業利益	1,081,321
営業外収益	
受取利息	10,430
受取配当金	1,426
投資不動産賃貸料	12,242
受取保険金	12,068
その他	22,891
営業外収益合計	59,058
営業外費用	
支払利息	54,503
減価償却費	7,961
シンジケートローン手数料	8,484
為替差損	115,270
その他	6,163
営業外費用合計	192,384
経常利益	947,996
特別利益	
固定資産売却益	8,845
貸倒引当金戻入額	2,236
特別利益合計	11,081
特別損失	
固定資産売却損	601
固定資産除却損	3,655
特別損失合計	4,256
税金等調整前四半期純利益	954,821
法人税、住民税及び事業税	263,085
法人税等調整額	△8,432
法人税等合計	254,653
四半期純利益	700,168

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間  
 (自 平成20年4月1日  
 至 平成20年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	954,821
減価償却費	650,700
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,236
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	4,400
賞与引当金の増減額 (△は減少)	159,549
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	10,396
受取利息及び受取配当金	△11,856
支払利息	54,503
為替差損益 (△は益)	13,967
有形固定資産売却損益 (△は益)	△8,244
有形固定資産除却損	3,606
無形固定資産除却損	48
売上債権の増減額 (△は増加)	331,968
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△666,800
仕入債務の増減額 (△は減少)	842,163
未収消費税等の増減額 (△は増加)	90,574
その他	27,546
小計	2,455,109
利息及び配当金の受取額	12,580
利息の支払額	△57,419
法人税等の支払額	△476,670
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,933,599
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の増減額 (△は増加)	△18,130
有形固定資産の取得による支出	△973,344
有形固定資産の売却による収入	9,965
無形固定資産の取得による支出	△12,522
その他	△1,358
投資活動によるキャッシュ・フロー	△995,389
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,141
長期借入金の返済による支出	△368,527
リース債務の返済による支出	△29,431
配当金の支払額	△92,246
財務活動によるキャッシュ・フロー	△488,064
現金及び現金同等物に係る換算差額	△32,160
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	417,985
現金及び現金同等物の期首残高	2,129,872
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,547,858

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) 中間連結損益計算書

区分	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	
	金額 (千円)	百分比 (%)
I 売上高		8,536,459 100.0
II 売上原価		7,259,267 85.0
売上総利益		1,277,192 15.0
III 販売費及び一般管理費		786,065 9.2
営業利益		491,127 5.8
IV 営業外収益		
1. 受取利息	8,735	
2. 受取配当金	723	
3. 投資不動産賃貸料	10,069	
4. 為替差益	314,327	
5. その他	31,915	365,772 4.2
V 営業外費用		
1. 支払利息	44,981	
2. 減価償却費	4,806	
3. シンジケートローン 手数料	8,647	
4. その他	11,095	69,530 0.8
経常利益		787,368 9.2
VI 特別利益		
1. 固定資産売却益	18,955	
2. 貸倒引当金戻入額	2,399	21,355 0.3
VII 特別損失		
1. 固定資産売却損	2,332	
2. 固定資産除却損	2,441	4,773 0.1
税金等調整前中間純利益		803,950 9.4
法人税、住民税及び 事業税	174,298	
法人税等調整額	323	174,622 2.0
中間純利益		629,327 7.4

## (2) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
区分	金額 (千円)
I 営業活動による キャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純利益	803,950
減価償却費	590,023
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,399
賞与引当金の増減額 (△は減少)	117,880
役員退職慰労引当金の 増減額 (△は減少)	7,489
受取利息及び 受取配当金	△9,459
支払利息	44,981
為替差損益 (△は益)	△132,847
投資有価証券評価損益 (△は益)	1,669
有形固定資産売却損益 (△は益)	△16,623
有形固定資産除却損	2,427
無形固定資産除却損	13
売上債権の増減額 (△は増加)	301,287
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△240,776
仕入債務の増減額 (△は減少)	234,816
未収消費税等の増減額 (△は増加)	33,823
その他	△88,212
小計	1,648,043
利息及び配当金の 受取額	9,066
利息の支払額	△46,122
法人税等の支払額	△146,896
営業活動による キャッシュ・フロー	1,464,091

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
区分	金額 (千円)
II 投資活動による キャッシュ・フロー	
定期預金の純増減額 (△は増加)	△6,953
有形固定資産の取得に よる支出	△577,742
有形固定資産の売却に よる収入	23,226
無形固定資産の取得に よる支出	△163
その他	△1,919
投資活動による キャッシュ・フロー	△563,553
III 財務活動による キャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	34,200
長期借入れによる収入	1,476,340
長期借入金の返済による 支出	△871,866
リース債務の返済に よる支出	△39,913
配当金の支払額	△92,246
財務活動による キャッシュ・フロー	506,514
IV 現金及び現金同等物に 係る換算差額	47,296
V 現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	1,454,349
VI 現金及び現金同等物の 期首残高	1,500,156
VII 現金及び現金同等物の 中間期末残高	2,954,505